

3. 試験問題

3.1. 問題文

1. 英文を綴るに当たっては、大文字と小文字、数字、記号、句読点、空白、改行、文中の括弧の閉じ括弧、脚注、引用文の閉じ括弧など、必要に応じて大文字と小文字を綴る。
2. 文中の大文字と小文字の綴り方について、(1) 大文字は、大文字の綴り方 (capitalization) に留意したものを綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
3. 綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
4. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
5. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
6. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
7. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
8. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。

3.2. 解答例の解説

3.2.1. 綴り方の規則

1. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
2. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。

3.2.2. 文中の大文字綴り方の規則

1. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
 2. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
 3. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
 4. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
 5. 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
- ★ 綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。
- ①-② 綴り方の規則

①-② 文中の大文字綴り方の規則

文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。

① 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。

② 文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。文中の大文字綴り方 (capitalization) は、綴り方の規則に従って綴る。

2. 計算

2.1 計算

- 計算 1 (1.1.1) : 計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。
- 計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。

	計算 1 (1.1.1)		
	結果		
	計算 1 (1.1.1)	計算 2 (1.1.2)	計算 3 (1.1.3)
計算 1 (1.1.1)	10	20	30

2.2 計算 (1.1.1)

	計算 1 (1.1.1)					
	計算 1 (1.1.1)			計算 2 (1.1.2)		
	計算 1 (1.1.1)	計算 2 (1.1.2)	計算 3 (1.1.3)	計算 1 (1.1.1)	計算 2 (1.1.2)	計算 3 (1.1.3)
計算 1 (1.1.1)	10	20	30	10	20	30
計算 2 (1.1.2)	10	20	30	10	20	30
計算 3 (1.1.3)	計算 3 (1.1.3)			計算 3 (1.1.3)		
計算 4 (1.1.4)	計算 4 (1.1.4)					

2.3 計算 (1.1.1)

- 計算 1 (1.1.1) : 計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。
- 計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。

項目	計算 1 (1.1.1)	計算 2 (1.1.2)
		計算 2 (1.1.2)
計算 1 (1.1.1)	10	20
計算 2 (1.1.2)	10	20
計算 3 (1.1.3)	10	20

計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。

計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。

- 1. 計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。
- 2. 計算 1 (1.1.1) の結果を、計算 2 (1.1.2) の結果に代入して計算する。

【要約】

本研究は、 Ca^{2+} の細胞内動態を解析するための新しい手法を開発した。

- 対象となる細胞系: HEK293T 細胞を用いた細胞内 Ca^{2+} 濃度の測定。
- 測定手法: 蛍光イメージングを用いた Ca^{2+} 濃度のリアルタイム測定。
- 解析手法: 機械学習を用いた Ca^{2+} 濃度変動の自動解析。
- 結果: 従来の手法よりも高精度で Ca^{2+} 濃度の変動を検出できることが示された。
- 結論: この新しい手法は、細胞内 Ca^{2+} 濃度の動的解析に有用である。

【キーワード】

細胞内 Ca^{2+} 濃度、機械学習、細胞内動態、リアルタイム測定。



Fig. 1. 細胞内 Ca^{2+} 濃度の時間経過を示すグラフ。

- Fig. 1: 細胞内 Ca^{2+} 濃度の時間経過を示すグラフ。
- Fig. 2: 細胞内 Ca^{2+} 濃度の時間経過を示すグラフ。
- Fig. 3: 細胞内 Ca^{2+} 濃度の時間経過を示すグラフ。
- Fig. 4: 細胞内 Ca^{2+} 濃度の時間経過を示すグラフ。